

# 住宅用太陽光発電システムの 火災にご注意ください！



住宅用太陽光発電システムの普及に伴い、当該構成機器の経年劣化や接続不良等が原因と思われる火災が全国的に増加傾向にあります。

火災の原因として消費者安全調査委員会によりますと、太陽電池モジュール<sup>※1</sup>の経年劣化やパワーコンディショナ<sup>※2</sup>及び接続箱<sup>※3</sup>への水分等の浸入などが報告されています。

※1 太陽電池モジュール

太陽の光エネルギーを電気に変換する装置。

※2 パワーコンディショナ

太陽電池で発電した直流電力を、家庭で使える交流電力に変換するための装置。

※3 接続箱

太陽電池からの直流配線を一本にまとめ、パワーコンディショナに送るための装置。



予防対策としては、専門的な知識や技術を要するため、メーカーや専門業者による定期点検の実施をお勧めします。使用中に異常を感じましたら速やかに使用を停止していただき、メーカーに問い合わせをお願いします。

※詳しくは、消費者庁ホームページをご覧ください。

[https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report\\_012/](https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_012/)

スマートフォン・タブレットの方はこちら

